

産業廃棄物処理業における起因物なしを起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017 年 発生 月	時間	死傷災害発生事例	年 齢	労 働 者 規 模
3	9~10	病院からの回収作業中、裏出入口から廃液の入った20ℓポリタンクを1本ずつ持ち、駐車場に止めている車に向かうため、緩やかな土手1m位の高さから上る途中で、左足ふくらはぎからバキッと音がして衝撃を受けた。	53	50 ～ 99
5	9～ 10	鉄筋場で部品の加工をし、作業場所に戻る際急いでいた為バランスを崩し左足首を捻挫してしまった。	58	10 ～ 29
6	10～ 11	収集場所に到着し、積み込みをして暫くした時に、右膝を捻った感じがし、その時は痛くはなかったが、家に帰ってから強い痛みがあり、病院に行った。ゴミをパッカー車に積み込もうとして、横に体重移動をした時に右膝を捻った。時間が経ってから痛みが酷くなった。	58	50 ～ 99
6	11～ 12	工場内で、ペットボトルのキャップを手作業にて取り外す作業をしていた。この業務に就いてから、同一の作業の繰り返しにより、両上肢に負担をかけ続けた結果、疼痛・痺れが出た。	49	100 ～ 299
7	22~23	廃棄物焼却施設内の供給コンベア上の投入ゴミが大きく絡まり、搬送されなくなりゴミを外部へ掻き出す作業を行った。作業終了後、左ひざに若干の違和感があり、その後左ひざを曲げると強い痛みに変わっていた。左ひざ内側側副じん帯捻挫と診断され、3週間左足を安静にする様医師から指示を受けた。	49	10 ～ 29
9	18～ 19	作業終了後、帰宅する為、荷物（ヘルメット）をロッカーにしまいに行く際に転倒し肩を骨折した。	43	30 ～ 49

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html